

事業名	代表者所属	広島国際学院大学 工学部
07KJ-06	代表者	講師 渡邊 真彦
定期教育交流講座『HERO-Hiroshima Engineers Reaching Out-』	開催地	広島市
	助成金額	10万円
活動概要	<p>①7月28日(土) 10:00～12:00 テーマ:「ヨーグルト」が可能にする健康生活 講師:渡辺昌規(工学部バイオ・リサイクル学科講師)</p> <p>②7月28日(土)、8月4日(土)13:30～15:00 テーマ:楽器を作ろう!～ギター編～ 講師:内海能亜(工学部機械工学科准教授)</p> <p>③8月4日(土) 13:30～15:30 テーマ:「空気」を使ったおもちゃ作り 講師:中村格芳(工学部バイオ・リサイクル学科講師)</p> <p>※7月28日(土)は講師の都合により中止し他の講座を紹介</p> <p>④8月4日(土) 10:00～15:00 テーマ:音で遊ぼう～吹く楽器編②～ 講師:渡邊真彦(工学部バイオ・リサイクル学科講師)</p> <p>⑤8月4日(土) 13:00～16:00 テーマ:「アンテナ」を作ってみよう! 講師:歌谷昌弘(情報学部情報工学科准教授)</p> <p>⑥8月5日(日) 13:00～15:00 テーマ:「ソーラーカー」を作ろう! 講師:金本貴司(自動車短期大学部自動車工業科助手)、楠木良治(自動車短期大学部自動車工業科助教)</p> <p>場所: 広島国際学院大学立町キャンパス 対象: 小学生～一般、参加者:61(人) 内訳(小中高の先生:未調査)(生徒:31人) 講座6件(全7回)、講師:7名</p>	



楽器を作ろう!～ギター編～



音で遊ぼう～吹く楽器編②～



「アンテナ」を作ってみよう!



「ソーラーカー」を作ろう!

事業の目的・ねらい

本事業は4年前から開始し、これまで230名以上の方々に受講していただいております。本年度で5回目の開催となり地域の皆様に多様な講座をご提供させていただいております。本事業、定期教育交流講座『HERO Hiroshima Engineers Reaching Out』は、小中学生や高校生などに対して、一般に広く使われている科学技術をやさしい実験などを通してその面白さを感じてもらうことを目的としています。またより高い年齢の方々には食と健康の正しい知識を知っていただく講座なども設け年齢を超えて楽しめる内容となっております。低年齢対象講座には毎年親子連れで受講される方も多く、短い時間ではありますが大変楽しかったと好評を頂いており、我々の励みとなっております。

『HERO』は本学院の機械工学科、情報工学科、バイオ・リサイクル学科、自動車工業科など幅広い分野の専門講師で構成されており、各々の分野を活かした視点から毎年トピックを選定しております。また、それぞれの講座は幅広い年齢層の方々が受講しやすい内容・構成となるよう工夫を行っております。今後も我々HEROは広島県民に対して地域貢献を行っていく所存でございます。

事業の概要

低年齢層に対する物作りを主体とした講座編成を行い下記の講座内容にて実施いたしました。各講座はおおむね2時間から長いもので4時間程度となっており、十分物作り体験が楽しめるように設定しております。これまでのアンケート調査から小中学生対象の講座を増やして実施いたしました。参加者は61人で保護者を除いた受講者は32人で昨年並みとなりました。物作りの講座では参加された保護者にも手伝ってもらう形式のものや、保護者もお子様と同じ物を同時進行で作っていただく形式のものがありました。

なお、本講座は貴財団の他に広島県教育委員会ならびに広島市教育委員会よりご後援をいただきました。

HERO 2007 実施講座名・講師・参加対象者一覧

開催講座名	講師	参加対象者
「ヨーグルト」が可能にする健康生活	渡辺昌規 工学部バイオ・リサイクル学科 准教授	高校生以上
楽器を作ろう！～ギター編～	内海能亜 工学部機械工学科 准教授	小学生～中学生
「空気」を使ったおもちゃ作り	中村格芳 工学部バイオ・リサイクル学科 講師	小学生～中学生
音で遊ぼう～吹く楽器編②	渡邊真彦 工学部バイオ・リサイクル学科 講師	小学生
「アンテナ」を作ってみよう！	歌谷昌弘 情報学部情報工学科 准教授	小学生高学年～中学生
「ソーラーカー」を作ろう！	金本貴司 自動車短期大学部自動車工業科 助手 楠木良治 自動車短期大学部自動車工業科 助教	小学生

結果及び効果

本講座「HERO」は今年度で5回目の実施となりました。これまでのアンケート結果および参加者の年齢構成を鑑み、今回は小学生でも参加可能な講座を全体的に増やしました。結果的に保護者数を除いた受講者数32人のうち、29人が小学生という結果になりました。夏休み期間ということもあり、多くの小学生が保護者の方々と参加して下さり、楽しい講座を実施することができました。毎年の傾向ですが、昨今大人と子供のふれあいが減少しているなか、年齢を超えて同時進行で同じ物を作り上げるという時間は非常に貴重であることを痛感いたします。このような経験から将来すばらしいチームワーク力を持った未来の科学技術者が育つことを予感させてくれます。

受講者の方々に記入していただいたアンケートの集計結果によれば、全体的に満足度が高く我々の今後の励みになる結果となりました。昨年同様受講者の興味はパソコンやITではなく「ものづくり」へシフトしていることがかなり明確になってきております。本講座は他の講座に比べ非常に独創的なコンテンツを毎回提供させていただいておりますが、今後ますます物作り要素の豊富な講座を提供するにあたって、内容が濃く且つ時間内で安全に楽しめるコンテンツを積極的に開発していく所存でございます。